

6-2 2/5時の指導計画

(1) 目 標

自分について説明するための材料を集めて分類し、大体の構成を考えることができる。

(2) 展 開

※ 表中のゴシック体で書かれた学習活動は、本時における評価の場面を表す。

	学習活動	教材資料	○指導上の留意点 ◆ICT活用の場面	評価規準と評価方法 ◇形成的評価による個別指導 Cの状況の生徒への手立て
導 入	1 前時の学習を振り返り、 本時の目標を確かめる。	学 習 計 画 表	○前時に設定した学習課題 を一斉に読み上げさせ、 2～3名の生徒に前時の 「学んだこと・感想」の 欄に書いたことを発表さ せる。 ○本時の目標を斉読によっ て確認させる。	
自分について説明するための材料を集めて分類し、大体の構成を考えよう。				
展 開	2 取材と材料の整理につい て既習事項を想起し、これ までに取り組んだ学習活動 を発表し合う。  3 本単元の取材対象が自分 であり、材料を探し出すと きの観点が「自分の特徴が 分かる事柄」や「紹介した いと思うこと」であること を確かめる。  4 教科書の「思いつくこと を書き出した例」(P73下) と「材料を整理した例」(P74 下)を見比べて、たくさんの 材料の共通点をまとめる整 理の仕方確かめる。	ワークシ ート③	○他者を説明(紹介)する際 にはインタビューやイン ターネット・図書資料等 の活用で情報を収集した ことを想起させる。 ○集めた情報について取捨 選択して書く材料を決め たことを想起させる。 ○教科書P271からP277の 資料編を参考にさせる。 ◆電子黒板に教科書P73上 を映し出し、「自分の特徴 が分かる事柄」と「紹介 したいと思うこと」とい う言葉に線を引くのを見 せ、それぞれの教科書に マーキングさせる。 ◆指導者の作品モデル作成 のための付箋と整理シー ト(ワークシート③)を教 材提示装置で映し出し、 実際に付箋を動かしながら 材料を整理する様子を見 せる。	◇既習事項が思い浮かばな い生徒には、教科書P271 「情報の調べ方・使い方」 を参照させ、発言を促す。

5 普段の生活を振り返ってみて、「自分の特徴が分かる事柄」や、「紹介したいと思う事柄」を思いつくままに付箋に書き出す。

[手順]

- 1) 5分間で自分のことを振り返って付箋に書き出す。
- 2) 書いたものを発表し合い、アイデアを得る。
- 3) 更に5分間で、自分のことを振り返って付箋に書き出す。

6 書き出した付箋を整理して、材料を絞り込む。

[手順]

- 1) 共通点ごとにまとまるよう付箋の位置を変える。
- 2) 共通点ごとに付箋を枠囲みして、枠囲みの見出しとして共通点を書く。
- 3) 「自分らしさを表すため」という目的に最も適当だと考えられる材料で、図表を用いて分かりやすく説明できそうな材料を選ぶ。

付箋

○制限した時間の中で、できるだけ多くの材料を書き出させるようにする。

○教科書P222の「基礎編 [整理する力]分類する」を参考に促す。

◆電子黒板にタイマーを映し出して時間の経過が分かるようにしておく。

○1人1つずつ重複しないものを発言させ、斬新なアイデアを出したり、たくさんの材料を集めたりすることができた生徒を評価し、意欲を喚起する。

○目的や意図に応じて選択させるようにする。

《板書例》

- ・目的=自分らしさを表すため
- ・意図=図表を使って分かりやすく印象的に伝える。

◇付箋に書くのが滞っている生徒には、教科書P222の資料「分類する」を使って、実際に材料として書き出した例を示す。

【書①】伝えたいことが明確に伝わるように、材料を収集・分類・整理しながら、段落の役割を考えて文章を構成している。【ワークシート③】

【付箋】

付箋に書いた材料を貼る位置を変えながら観点ごとにまとめ、枠囲みをしたり、観点を記入したりして、「『私』の説明文」の大体の構成を考えている状況を「おおむね満足できる」状況(B)と判断する。

生徒の学校生活から推測できることをいくつか提示して、「自分らしさを表す」ものを選びせ、どのような図表を使うかを見通させる。

まとめ	7 学習計画表の「振り返り」の欄に色を塗り、「学んだこと・感想」を書く。また、次時の「目標」を確かめ、見通しをもつ。	学習計画表	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目標に応じて学習内容がどうであったかを考えて振り返るよう促す。</li> <li>○板書を参考にして学んだことを書かせる。</li> <li>○次時は、図表を組み合わせ、「『私』の説明文」の下書きをすることを確かめる。</li> </ul>	
-----	--	-------	--	--